

ねんりょうちよぞうぶっしつ
燃料貯蔵物質

■ 用語解説 ■

燃料を自らの体の中に取り込むことによって、貯蔵が可能となる物、例としてメタンハイドレート、カーボンナノチューブなどが有る。